

令和7年度  
めざす学校像

「学ぶ喜びと活力あふれる森の里小学校」

めざす子どもの姿



森の里小学校

学校だより 令和7年12月17日 No.19 文責 菅沼真弓

# 森の風

あいさつ  
いじめ×  
うんどう大好き  
えがおになる言葉  
おれいの言葉  
かいわとがくしゅう大事  
きまりを守る

## 特集！ いじめへの取組Ⅱの①

### いじめをみつける取組

いじめが起きていることを、どのように学校が知るのかということから、お伝えしようと思います。

#### 1 普段の生活から

##### (1) 楽メの連絡

保護者から欠席連絡やその他心配なことも記載していただいています。その情報は、校内の職員が共有できます。ですので、いじめにつながるような内容（子ども同士のトラブル）について、どのように対応しているか報告・連絡・相談を適宜行っています。

##### (2) 朝の声かけ、教室で子どもを迎える、健康観察

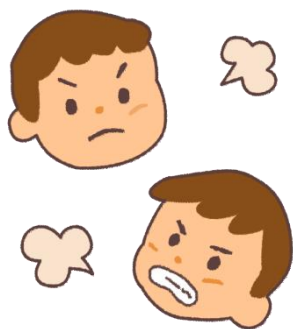
登校時刻8：05の玄関には、いつも特別支援担任を中心とした先生方が、挨拶をしながら子どもを出迎えています。朝のちょっとした見守りですが、普段と違う子ども様子を感じ取る機会でもあります。

そして、教室では担任が子どもを出迎えています。毎朝の挨拶や表情の中にも、いつもとの違いを感じ取り、見守る体制を作っています。また、健康観察もタブレット入力で自分の健康状態を伝える学校が多くなっていますが、本校はその選択はせず、目と目を合わせてその子の声を聞きながら、健康状態だけでなく心の様子も推しはかるようにしています。



##### (3) 休み時間や活動中のトラブル

これが一番いじめを発見しやすいものですが、先生方の観察や子ども本人からの訴え、周りの子ども達からのお話しなど様々なパターンがあると思います。そのような場合は、関係する子ども達から話を聞き、事実確認をしながら善し悪しを判断させ、それぞれが納得いくように指導します。校内で起こるトラブルは、子ども達の関係性を推しはかりながら継続した問題とならないよう、随時指導したり見守ったりしていきます。



##### (4) 保健室の様子

保健室は、体の不調だけではなく心が落ちつかない時や疲れているときに利用する子どもも少なくありません。養護教諭はその点を考えながら、子ども達の様子をよく観察し、担任と情報交換しながら、適切な指導になるよう心がけています。私たち管理職も、養護教諭から情報を得ることで、早期対応が行えるようにしています。

#### 2 いじめアンケートから

いじめアンケートは毎年3回、学期毎に全校児童対象に行っています。最近は集計しや

すいようにタブレットで回答する方式になりました。質問項目は次のとおりです。

- (1) あなたは、今年の4月から今日まで、嫌な思いをしたことがありますか。
- (2) どんなことをされて、嫌な思いをしましたか。(項目を選択する)
- (3) あなたは、今も嫌な思いをしていますか。
- (4) あなたは、嫌な思いをした時、誰に相談しますか。全てえらんでください。(項目を選択する)
- (5) あなたは、今年の4月から今日まで、友人が嫌な思いをしているのを見たり、聞いたりしたことがありますか。
- (6) 学校から「子ども相談支援センター電話相談紹介カード」が配られていますが、そのカードを知っていますか。
- (7) あなたは、苦しんだり、悩んだりして心がきずつく「いじめ」はどんな理由があっても許されないことだと思いますか。
- (8) あなたは、学校の「学校いじめ防止基本方針」の内容(学校がいじめを防止するために行っている取組)を知っていますか。
- (9) あなたはだれかの役に立っていると思いますか。
- (10) 何か、相談したいことがありますか。
- (11) 相談したいことがあれば、自由に入力してください。

項目の変遷はありますが、(1)の嫌な思いをしたことがあると回答した子から、学級においてそれぞれの子の状況を聞き取りながら、いじめの指導につなげています。もちろん学校全体としても集計しています。いじめとして認知する内容については、子ども達の様子を全体把握しながら、関わる先生方で適切に指導や支援をしていきます。

このアンケートは道内全ての学校で行っているもので、その集計は、帯広市、十勝教育局、北海道教育庁まで報告が上がります。集計内容も件数だけではなく、内容や学校の対応なども細かく報告する義務があります。近年は、件数が少ないから良いという捉えではなく、件数が多くてもいじめを見逃さず適切に対応する資料として捉える傾向が強いです。

### 3 保護者の方々から

子どもが嫌な思いを抱えてお家に帰り保護者の方に相談して、保護者の方から学校へ問い合わせ、トラブルが発覚する場合があります。その際は、表面でも記載したとおり、子どもの話をよく聞き、事実確認を行いながらいじめの認知を行い、丁寧な指導や対応につなげていきます。もちろん、保護者の方と指導についての共有も行います。



### 4 地域の方々から

子どもの様子をよく見てくれているのは、学校や保護者だけではありません。地域の方々も、朝の登校見守りの時、どんぐりの森などの放課後活動、公園で遊ぶ子ども達の様子など、様々な場面で何か心配なことがあれば、学校に一報を入れてくれています。子ども達のトラブルだけでなく交通安全や公共のマナーなど、多岐にわたりますが、地域の皆様の確かな目は、地域で子どもを育てるという意識を感じることができ、大変ありがたく思うところです。



\* 次号では、**いじめ事案への対応について** を紹介します。